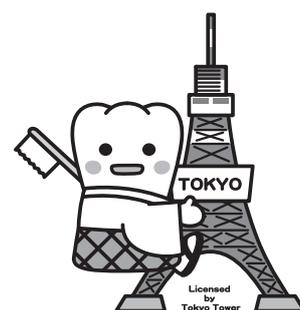


# 令和5年度 卒後研修 受講者 募集案内



公益社団法人 東京都歯科医師会  
(<https://www.tokyo-da.org>)



# 目 次

卒後研修受講者募集のご案内	1
卒後研修 申込書	1
卒後研修実施 日程	2
卒後研修実施 内容（各大学4講座ずつ）	3
1. 東京歯科大学	3
2. 日本歯科大学生命歯学部	5
3. 日本大学歯学部	7
4. 東京医科歯科大学歯学部	9
5. 昭和大学歯学部	11

## ○ 卒後研修開催日カレンダー ○

※太枠の○-○は申込番号となり，研修内容の詳細は2ページ以降をご覧ください。

申込番号 東歯大：1-○ 日歯大：2-○ 日大：3-○ 医歯大：4-○ 昭和大：5-○

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
3-1				4-1		

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
2-1				5-1		
9	10	11	12	13	14	15
4-2				5-2		
16	17	18	19	20	21	22
				2-2		
23	24	25	26	27	28	29
2-3				3-2		
30	31					
1-1						

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
				3-3		
6	7	8	9	10	11	12
1-2 5-3						
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
1-3						
27	28	29	30	31		
4-3						

### 9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
3-4				2-4		
10	11	12	13	14	15	16
4-4 5-4						
17	18	19	20	21	22	23
1-4						
24	25	26	27	28	29	30

## 卒後研修受講者募集のご案内

1. 研 修 時 間 午前10時～午後5時
2. 申 込 期 間 令和5年4月3日（月）～5月19日（金）まで ※定員超過の講座は抽選。なお、定員未満の講座は6月2日（金）まで申込みを受付けますので、お問合わせ下さい。
3. 申 込 方 法 本会ホームページ [「東京都歯科医師会 検索」](#) のイベント情報の [「申込フォーム」](#) よりお申込み下さい。または、下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
4. 費 用 受講料（1講座につき）本会正会員・準会員 15,000円／非会員 50,000円  
実習材料費（各講座ごとに異なります）
5. 支 払 方 法 本会から、受講料および実習材料費の払込票を当選（開催）通知と併せて送付しますのでコンビニより6月16日（金）までに必ず納入ください。（振込み手数料は本会負担のため無料）
6. 受 講 取 消 当選後は、取消し（キャンセル）ができません。欠席の場合でも受講料および実習材料費を負担いただきますのでご了承下さい。欠席する場合、以下のお問合せ先にご連絡下さい。
7. 日 歯 生 涯 研 修 一日受講した場合、特別研修（10単位）に加え受講研修（12単位）に該当します。
8. 昼 食 原則、昼食の用意はありません。ランチョンセミナー付きの講座については、昼食の用意がありますので、3ページ以降の卒後研修実施内容および当選（開催）通知をご確認下さい。
9. お 問 合 せ 先 公益社団法人 東京都歯科医師会・学術担当  
〒102-8241 東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館3階  
TEL. 03-3262-1149（平日10時～16時）／FAX. 03-3262-4199



こちらからも  
研修会のお申  
込みができます

公益社団法人 東京都歯科医師会・学術担当 行  
FAX. 03-3262-4199

### 令和5年度 卒後研修申込書

ふりがな			〒      -
氏 名	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 準会員 <input type="checkbox"/> 非会員	医 療 機 関 住 所	
地 区 <small>（正会員のみ 記入）</small>	歯科医師会		
医療機関 電 話	—                      —	医 療 機 関 名	

1. 受講希望の申込番号・開催日をご記入下さい。
2. 申込講座数に制限はありませんが、同一日に複数開講の場合、1講座のみの申込みとなります。
3. 記載の氏名・所属地区名のみ担当講師に提供し、受講者名簿は研修当日に配布いたします。

	申込番号	開 催 日		申込番号	開 催 日
1 講 座	—	月 日	10 講 座	—	月 日
2 講 座	—	月 日	11 講 座	—	月 日
3 講 座	—	月 日	12 講 座	—	月 日
4 講 座	—	月 日	13 講 座	—	月 日
5 講 座	—	月 日	14 講 座	—	月 日
6 講 座	—	月 日	15 講 座	—	月 日
7 講 座	—	月 日	16 講 座	—	月 日
8 講 座	—	月 日	17 講 座	—	月 日
9 講 座	—	月 日	18 講 座	—	月 日

## 卒後研修実施日程

(開催日順・敬称略)

申込番号	開催日時	研修テーマ	大 学	講 師	実 習 費
3-1	6月25日(日)	臨床で行う歯周組織再生療法	日本大学歯学部	佐藤 秀一 教授	15,000円
4-1	6月29日(木)	再生療法およびレーザーを活用した歯周治療	東京医科歯科大学	岩田 隆紀 教授 青木 章 教授	15,000円
2-1	7月2日(日)	患者国民が求めるメタルフリー接着修復の最新情報と勘所 —コンポジットレジン直接修復からCAD/CAM修復まで—	日本歯科大学	奈良 陽一郎 教授	16,000円
5-1	7月6日(木)	インプラントオーバーデンチャー (IOD/IARPD) と デジタルデンティストリーのエッセンス	昭和大学歯学部	馬場 一美 教授	10,000円
4-2	7月9日(日)	スムーズな小手術	東京医科歯科大学	原田 浩之 教授	20,000円
5-2	7月13日(木)	本当は難しくない小児の保険	昭和大学歯学部	船津 敬弘 教授	8,000円
2-2	7月20日(木)	口腔外科小手術を極める ～実践編～	日本歯科大学	里見 貴史 教授 澁井 武夫 教授	13,000円
2-3	7月23日(日)	NiTi ローターファイルを用いたリトリートメント	日本歯科大学	五十嵐 勝 教授 北村 和夫 教授	20,000円
3-2	7月27日(木)	神経障害性疼痛の診査・診断	日本大学歯学部	野間 昇 教授	3,000円
1-1	7月30日(日)	痛くない、動かない局部床義歯を実現するための問題解決法 —クラスプ義歯からマグネット義歯まで—	東京歯科大学	山下 秀一郎 教授	12,000円
3-3	8月3日(木)	新時代のメタルフリー修復 ～症例選択から装着まで～	日本大学歯学部	小峰 太 教授	15,000円
1-2	8月6日(日)	歯科矯正用アンカースクリューと MTM —基礎と応用—	東京歯科大学	西井 康 教授 笠原 清弘 准教授	20,000円
5-3	8月6日(日)	下顎総義歯難症例への対応	昭和大学歯学部	佐藤 裕二 教授 古屋 純一 准教授	18,000円
1-3	8月20日(日)	臨床解剖の重要性を再確認する： 解剖標本を手にとって体感する基礎と臨床の接点	東京歯科大学	阿部 伸一 教授	2,000円
4-3	8月27日(日)	エビデンスに基づくベーシックエンド+α	東京医科歯科大学	興地 隆史 教授	20,000円
3-4	9月3日(日)	明日から応用できる最先端エンドドントロジー	日本大学歯学部	武市 収 教授	20,000円
2-4	9月7日(木)	医療的ケア児から高齢者における在宅診療のヒント	日本歯科大学	菊谷 武 教授 田村 文誉 教授	3,000円
4-4	9月10日(日)	最新の接着修復 コンポジットレジン修復の接着パフォーマンスを高める	東京医科歯科大学	島田 康史 教授	15,000円
5-4	9月10日(日)	最新のインプラントトラブルとリカバリー	昭和大学歯学部	宗像 源博 准教授	18,500円
1-4	9月17日(日)	根面齧蝕の病因、病態と治療 ～グラスアイオノマーセメントを活用してみましょう～	東京歯科大学	村松 敬 教授	13,000円

※受講料(1講座につき)：本会正会員，準会員15,000円／非会員50,000円

※実習材料費：各講座別に異なります。

※開催場所，事前提出物，当日持ち物等の詳細については，当選(開催)通知にてご案内致します。

# —— 卒後研修実施内容 ——

## 1. 東京歯科大学

### ◎パーシャルデンチャー補綴学講座 申込番号：1-1

1. 期 日 令和5年7月30日(日) 午前10時～午後5時

2. 研修テーマ 痛くない、動かない局部床義歯を実現するための問題解決法  
～クラスプ義歯からマグネット義歯まで～

- 内 容
- (1) 局部床義歯概論(講義)
  - (2) 義歯設計の具体的手順(講義)
  - (3) 義歯調整のヒント(講義)
  - (4) サベイヤーの使用法(実習)
  - (5) 研究用模型への設計記入(実習)
  - (6) 磁性アタッチメントの使用法(実習)

3. 研修の特徴 「どの歯医者さんに診てもらっても全然だめだったのに、先生のお陰で本当に良くなって嬉しい！先生、名医だね！」

患者さんからのこの一言は、何にも代えがたいものです。

「入れ歯が痛い」の訴えに、すぐに床内面を割合していませんか？

「入れ歯がゆるくてすぐ外れる」に対して、クラスプをきつく締めていませんか？

これでは患者さんは離れていきます。なぜだか分かりますか？

答えを知りたい先生方、義歯なんてこんなもんだと諦めている先生方、是非とも本研修の受講をお勧め致します。不得意分野を払拭できるまたとない機会を提供します。保険義歯から自費対応の義歯まで、さらに磁性アタッチメントを応用した義歯など、この研修では明日からの臨床にすぐに役に立つ内容を補綴専門医がわかりやすく、凝縮してお伝えします。局部床義歯の目指すところは「外れにくく、外しやすい義歯」です。研修終了時には、皆さん名医になれますよ！

4. 実 習
- ①サベイヤーの使用法
  - ②研究用模型への設計記入
  - ③磁性アタッチメントの使用法

※実習で用いた模型と義歯はお持ち帰り頂けます。先生方の臨床における設計や義歯の見本としてお使い下さい。

5. 実習教材費 12,000円 6. 担当者 山下秀一郎教授および講座員

7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2608, 2698

### ◎歯科矯正学講座 申込番号：1-2

1. 期 日 令和5年8月6日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ 歯科矯正用アンカースクリューとMTM ～基礎と応用～

- 内 容
- (1) 歯科矯正メカニクスの基礎(講義)
  - (2) 歯科矯正用アンカースクリューの特徴と植立時の診断(講義)
  - (3) アンカースクリュー植立(実習)
  - (4) MTMの基礎とアンカースクリュー使用時のメカニクス(講義)
  - (5) アンカースクリューを使用したMTM(実習)

3. 研修の特徴 包括的な歯科治療を行う上で部分的な矯正治療(MTM)が必要になる場面に遭遇することがあるかと思えます。MTMの難しさは、限られた条件の中で固定源をデザインし、目的の歯を目標の位置にいかに正確に動かすかにあります。それゆえ、歯の移動には限界がありました。

近年、矯正治療にアンカースクリューの使用が可能となり、MTMにも応用できるようになりました。しかし、アンカースクリューを用いたメカニクスには従来の歯の固定とは固定力や方向など異なる場面が多く、予期せぬ歯の移動が生じることがあり、熟慮されたメカニクスが必要になります。

本研修では、矯正治療の基本的な知識、ワイヤーの屈曲およびMTMの意義、適応症、固定源の考え方等、基本的なフォースシステムを大白歯のアップライトに焦点をあて解説いたします。

4. 実 習
- ①歯科矯正用アンカースクリュー植立実習
  - ②大白歯のアップライトMTM実習(ワイヤーベンディング、装着)

5. 実習教材費 20,000円 6. 担当者 西井康教授、笠原清弘准教授および講座員

7. 受講定員 45名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2905, 2998

◎解剖学講座 申込番号：1-3

1. 期 日 令和5年8月20日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 臨床解剖の重要性を再確認する：解剖標本を手にとって体感する基礎と臨床の接点  
内容 (1) 顎関節の機能解剖  
(2) 無菌顎治療のための機能解剖学  
(3) 口腔内小手術のための臨床解剖  
(4) 育成系歯科医療（矯正，小児歯科）のための機能解剖  
(5) 学校歯科の中で，歯科医師が指導すべきことを考える  
(6) 高齢者の摂食・嚥下：フレイルになるメカニズムと防止法
3. 研修の特徴 東京歯科大学解剖学講座では，口腔内小手術，インプラント治療の際に必要な《臨床医が知らなければならないチェックポイント》をかねてより提唱してきました。チェックポイントを理解するための重要な項目として，顎骨の歯牙喪失後の形態変化によって顎骨周囲，顎骨内部の神経，血管，筋，唾液腺組織など軟組織の位置関係が，口腔内からどのような部位に位置するように変化するかについて解説します。安全・確実に口腔内小手術，インプラント治療を行うために必須の知識です。さらに，講演と解剖学実習室における標本見学（実際に手に取って観察可能です）を組み合わせた方式で行います。そして3次的に臨床解剖学的事項に関する理解を深めていただき，十分な質問時間を標本見学時に設定し，先生方の日頃の臨床上のご質問を，解剖標本をお示ししながら回答させていただきます。この方式で，顎関節・補綴治療・育成系歯科医療・高齢者の摂食嚥下・オーラルフレイルに関する解説と実習を進めていきます。
4. 実 習 解剖学実習室へ移動して，標本を手にとって理解を深める実習
5. 実習教材費 2,000円
6. 担 当 者 阿部伸一教授および講座員
7. 受講定員 60名
8. 記 録 撮影×，録画×，録音×
9. 研修コード 2201, 2298

◎保存修復学講座 申込番号：1-4

1. 期 日 令和5年9月17日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 根面齲蝕の病因，病態と治療 ～グラスアイオノマーセメントを活用してみましよう～  
内容 (1) 根面齲蝕の病因・病態  
(2) グラスアイオノマーセメントの基礎（材料学）  
(3) 根面齲蝕の治療：再石灰化療法とグラスアイオノマーセメント修復  
(4) 模型歯を用いた実習
3. 研修の特徴 我が国が超高齢社会を迎えてから長い年月が経ち，令和4年には総人口の29.1%を占めるようになった。その中で8020達成者が増えていることは喜ばしいことであるが，80歳以上の人で齲蝕を有する人の割合も増加しており，これに伴い根面齲蝕が増加しているのも現実である。このことから根面齲蝕は日々の臨床とは切っても切り離せない関係となってきている。日本歯科保存学会は「う蝕治療ガイドライン第2版」に根面齲蝕への対応が記載され，令和4年には「根面う蝕の診療ガイドライン-非切削でのマネジメント-」を新たに発刊している。  
本研修会では根面齲蝕の病因・病態を考えることから始まり，ついで初期根面齲蝕に対する再石灰化療法，欠損が大きくなった根面齲蝕に対する修復として，近年，再注目されるようになったグラスアイオノマーセメント修復について材料学的性質と治療上の要点を講演で紹介する。その後の実習では根面齲蝕模型歯に対して各種，グラスアイオノマーセメントを使用して，治療上の注意点，ポイントを体感していただく。  
本研修が翌日から高齢者の根面齲蝕のマネジメント，治療に役立てていただければ幸いですと考えている。
4. 実 習 根面齲蝕用模型歯に対して各種グラスアイオノマーセメントを用いた修復を実施する。
5. 実習教材費 13,000円
6. 担 当 者 村松 敬教授および講座員
7. 受講定員 40名
8. 記 録 撮影×，録画×，録音×
9. 研修コード 2603, 2698

## 2. 日本歯科大学生命歯学部

### ◎接着歯科学講座 申込番号：2-1

1. 期 日 令和5年7月2日（日）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ 患者国民が求めるメタルフリー接着修復の最新情報と勘所  
～コンポジットレジン直接修復からCAD/CAM修復まで～

- 内 容
- (1) コンポジットレジンによる低侵襲接着治療の奥義（講義）
  - (2) レジンセメント性能の活かし方&引出し方（講義）
  - (3) 脱落させないCAD/CAM冠支台歯形成の留意点（講義）
  - (4) メタルフリー接着前処理の隠し技（講義）
  - (5) 保険収載“象牙質レジンコーティング”活用のCAD/CAM冠修復（講義）
  - (6) 直接&CAD/CAM修復の必勝クリニカルポイント（講義）
  - (7) コンポジットレジン2級直接修復とCAD/CAM冠修復（実習）

3. 研修の特徴 メタルフリー接着修復は、患者国民が切望する“審美性・低侵襲性・信頼性”に長けた治療を提供する首座的な方法といえましょう。

そこで今回のプログラムでは、日々対応するコンポジットレジン直接修復はじめ、今後の歯科医療を担うCAD/CAM修復にスポットを当て、それらの最新情報と勘所についてご紹介します。特に講義では、低侵襲性治療の旗頭ともいえるレジンによる歯頸部修復・咬合面修復・コア処置時の心得、間接修復に必須となるレジンセメント的確応用、確実なCAD/CAM修復に求められる支台歯形成、簡単にできるメタルフリー前処理、保険収載“象牙質レジンコーティング”・レジン直接修復・CAD/CAM修復の必勝クリニカルポイント等を判り易く説明します。また実習では、信頼性・汎用性に優れたシステムによるコンポジットレジン2級直接修復や良質なCAD/CAM冠修復について実践いただきます。さらに希望者には、最新型のCAD/CAMシステムCERECによる修復物デザインとミリングの体験機会を設けます。皆様のご参加をスタッフ一同、お待ちしております。

4. 実 習 ①コンポジットレジン2級直接修復

優れた接着能を有するボンディングシステムを活用し、隔壁法を併用しながら、信頼性・審美性に長けた2級コンポジットレジン修復の手技を身に付けていただく。

②CAD/CAM冠修復

CAD/CAM冠修復の支台歯形成を経て、象牙質レジンコーティング法を実施いただく。また優良なレジンセメントを用いたCAD/CAM冠の装着を実践いただく。併せて希望者には、CAD/CAMシステムCERECによる修復物デザインとミリングを体験いただく。

5. 実習教材費 16,000円 6. 担 当 者 奈良陽一郎教授および医局員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2604, 2698

### ◎口腔外科学講座、附属病院口腔外科 申込番号：2-2

1. 期 日 令和5年7月20日（木）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ 口腔外科小手術を極める ～実践編～

- 内 容
- (1) 口腔粘膜の切開と剥離（減張切開を含む）
  - (2) 止血法（圧迫・圧迫・凝固止血）
  - (3) 単結紮縫合の基本と水平・垂直マトレス縫合
  - (4) 骨移植のハンズオン

3. 研修の特徴 本実習はハンズオンが中心です。確実に安全な口腔小手術の手技獲得を目指します。

まず、ブタ顎骨を用い、口腔粘膜の切開、剥離（減張切開を含む）について、基本操作を確認します。また、圧迫・結紮・凝固法を中心とした止血法を実践して頂きます。縫合法は、単純結紮、マトレス縫合等を行います。

さらに、実習前半で習得した手技の応用として、骨移植のハンズオンに挑戦して頂きます。「骨移植の実際」について講義を行った後、ブタの顎骨を用い、自家骨採取と骨移植のハンズオンを行います。

本実習では、基本に立ち返り、口腔外科小手術の基本手技を一から講義させて頂いた上で、実際に体験し、習得していただくことを目的としています。口腔外科手術の経験の浅い先生方、もう一ランク上を目指したい先生方の参加をお待ちしております。

4. 実 習 ①ブタの顎骨模型を用いた切開・剥離・止血・縫合法の手技実習

②ブタの顎骨模型を用いた骨移植の手技実習

5. 実習教材費 13,000円

6. 担 当 者 里見貴史教授（口腔外科学講座）、澁井武夫教授（附属病院口腔外科）および医局員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2706, 2798

◎**歯科保存学講座**, 附属病院総合診療科 **申込番号：2-3**

1. 期 日 令和5年7月23日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ **NiTi ロータリーファイルを用いたリトリートメント**

- 内 容
- (1) NiTi ロータリーファイルの変遷 (講義)
  - (2) リトリートメントのポイント (講義)
  - (3) ランチョンセミナー
  - (4) 効率的なガッタパーチャの除去 (実習)
  - (5) NiTi ロータリーファイルを用いた再根管形成 (実習)
  - (6) 簡単確実な再根管充填 (実習)

3. 研修の特徴 ガッタパーチャ (GP) とシーラーを用いた根管充填は、リトリートメントの際に除去することを想定しているが、除去の難易度は、GP の柔軟性に左右される。GP が劣化していない症例では GP に柔軟性があり、象牙質と硬さに差があるため、切削器具で選択的に容易に除去できる。一方、GP が劣化している症例では、GP が硬く除去に時間を要し、GP だけを選択的に切削することも難しく、不必要な根管壁象牙質切削を引き起こす恐れがある。

午前の講演では、NiTi ロータリーファイルの進化とリトリートメントの勘所を解説する。その後、ランチョンセミナーを行い、午後は2班に分かれて実習を行う。

実習では、既根管充填済透明根管模型を用いて、GP の除去後、NiTi ロータリーファイルによる再根管形成、マッチドテーパーシングルコーン法とコアキャリア法による根管充填を実践する。

本研修で、安全で効率的なリトリートメントを学んでいただき、明日からの臨床に活かしていただければ幸いです。

4. 実 習
- ①透明根管模型の GP 除去 (除去法 NiTi ロータリーファイル)
  - ②GP 除去後の再根管形成 (NiTi ロータリーファイル)
  - ③根管充填 (マッチドテーパーシングルコーン法・コアキャリア法)

5. 実習教材費 20,000円

6. 担 当 者 五十嵐 勝教授 (歯科保存学講座), 北村和夫教授 (附属病院総合診療科) および医局員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2503, 2598

◎**口腔リハビリテーション多摩クリニック** **申込番号：2-4**

1. 期 日 令和5年9月7日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ **医療的ケア児から高齢者における在宅診療のヒント**

- 内 容
- (1) 小児在宅歯科医療の実際
  - (2) ミールラウンド, カンファレンスの進め方
  - (3) 摂食嚥下機能に合わせた食形態の選定法
  - (4) 終末期の口腔管理
  - (5) 訪問診療における治療方針決定のヒント

3. 研修の特徴 高齢者の ADL は75歳を境に徐々に低下してくるため、診療室に通院している高齢者は数年後には通院困難な状況になることが予想されます。このような背景から今後、訪問診療のニーズは確実に増加してくると考えられます。しかし、要介護高齢者は多くの疾患を抱えているために治療におけるリスクや患者さんを取り巻く環境を考慮し、治療方針を決定する必要があります。

そして、多職種と協働して診療を進めていくことが求められます。また、在宅診療は高齢者だけではなく、気管切開や人工呼吸器を必要とする医療的ケア児 (者) も対象であり、そのニーズも高まっています。

本コースでは、医療的ケア児から高齢者における在宅診療の進め方のコツについて講義および実習を通して行う予定です。具体的には、在宅診療に必要な口腔機能評価や嚥下スクリーニング検査の相互実習を行います。さらに、提示した症例を通して、グループワークの形式をとり、治療方針決定までの考え方について理解を深めていただきます。

4. 実 習
- ①口腔機能評価, 摂食嚥下評価の相互実習
  - ②症例カンファレンス
  - ③治療方針の決定についてのグループワーク

5. 実習教材費 3,000円 6. 担 当 者 菊谷 武教授, 田村文誉教授および医局員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 3405, 3498

### 3. 日本大学歯学部

#### ◎歯科保存学第Ⅲ講座 申込番号：3-1

1. 期 日 令和5年6月25日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 臨床で行う歯周組織再生療法  
内 容 (1) 歯周組織再生療法の理論  
(2) 歯周組織再生療法の手技  
(3) 歯周組織再生療法の実践（ブタ下顎骨実習）  
(4) 歯周組織再生療法の実際
3. 研修の特徴 高齢社会が進んでいく中、ますます重症の歯周病患者が増えています。重症度の高い歯周病患者の治療では、通常の歯周外科手術（フラップ手術）を行っても歯周病を改善させることは困難です。そのため歯周組織の再生による治癒が期待できる歯周組織再生療法を行うことが効果的です。  
そこで、本研修では日々の臨床で歯周組織再生療法をルーティンに行っていたために必要な知識と実践を学びます。とくに、ブタ下顎骨を用いた実習を通して、臨床で行う歯周組織再生療法（GTR法、エムドゲイン<sup>®</sup>、リグロス<sup>®</sup>）の手技を習得して、ぜひ明日からの臨床につなげていただきたいと思います。
4. 実 習 歯周組織再生療法を臨床で行うために必要な知識と実際を学びます。ブタ下顎骨を用いて歯周組織再生療法（GTR法、エムドゲイン<sup>®</sup>、リグロス<sup>®</sup>）の手技を習得します。
5. 実習教材費 15,000円 6. 担 当 者 佐藤秀一教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2504, 2598

#### ◎口腔内科学講座 申込番号：3-2

1. 期 日 令和5年7月27日（木）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 神経障害性疼痛の診査・診断  
内 容 (1) ノシプラスティックペインの診断と治療  
(2) 神経障害性疼痛の診断と治療、精密触覚機能検査  
(3) 十二脳神経の診査  
(4) バーニングマウス症候群の診断と治療  
(5) 心理検査の行い方と自律訓練法
3. 研修の特徴 日常の臨床で、痛みの原因が歯にあるのか否かの判断に困る症例に遭遇することがしばしばあります。この研修では、ノシプラスティックペイン（特に神経障害性疼痛）の鑑別診断を念頭に解説を加えます。来院患者に対して、特殊な器具を用いないで行う神経障害性疼痛の診査方法について述べて行きたいと思います。午前中と午後の一部を使って痛みの概論をお話し、午後には実際に実習を通して履修していただくことを予定しています。また、舌痛症などの慢性の痛みを訴える患者の心理背景、心理学的な解析についても解説を加え、実際に簡単な心理検査と自律訓練法について経験していただくことも考えています。  
この研修を通して、皆様の頭の中での病態の整理が可能となり、診査診断の一助となることを期待しています。実習では、綿棒、爪楊枝を使用した定性検査を行い、ノギスを使用した2点弁別検査、精密触覚機能検査を行いたいと思います。
4. 実 習 ①十二脳神経の診査  
②爪楊枝、綿棒、ノギスによる神経障害性疼痛の診査  
③心理テスト（POMS2）  
④自律訓練法
5. 実習教材費 3,000円 6. 担 当 者 野間 昇教授および講座員
7. 受講定員 30名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2808, 2898

◎**歯科補綴学第Ⅲ講座** 申込番号：3-3

1. 期 日 令和5年8月3日（木）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ **新時代のメタルフリー修復 ～症例選択から装着まで～**

- 内 容
- (1) 新時代のメタルフリー修復の適応と特徴について（講義）
  - (2) ジルコニアの特徴を生かした補綴臨床について（講義）
  - (3) CAD/CAM冠，ジルコニア接着ブリッジのための支台歯形成（実習）
  - (4) 口腔内スキャナーを用いた光学印象 CAD/CAMを用いたクラウン製作（実習，デモ）
  - (5) CAD/CAM冠，ジルコニア接着ブリッジの接着と術後管理（実習）
  - (6) 質疑応答

3. 研修の特徴 CAD/CAM技術の発展により，ジルコニアやCAD/CAM冠用レジンプロックなどの歯冠色材料がクラウンなどの歯冠修復処置のみでなく，ブリッジやインプラント上部構造など欠損部に対する補綴治療にも応用されています。メタルフリー修復物が長期にわたり安定した治療結果を得るには，適切な症例選択や各材料に対する臨床術式を理解し，正しく実践することが重要です。また，近年ではデジタル技術を応用した口腔内スキャナーを用いた光学印象，さらにはCAD/CAMシステムでの補綴装置製作が著しく普及しています。

本研修では，ジルコニア，保険収載されている前歯部CAD/CAM冠，さらに口腔内スキャナーによる光学印象について講義および実習を行います。ジルコニアおよびCAD/CAM冠用レジンプロックの材料の特徴，実際の臨床操作（主に，支台歯形成と補綴装置の接着方法），さらには臨床成績から見えてくる臨床での注意点などについて，臨床に直結した研修を行います。先生方の明日からの臨床に役立つように，簡潔でわかりやすい研修を行いたいと考えています。

4. 実 習 ①メタルフリー修復物の支台歯形成および接着

②口腔内スキャナーによる光学印象

5. 実習教材費 15,000円 6. 担 当 者 小峰 太教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2604, 2698

◎**歯科保存学第Ⅱ講座** 申込番号：3-4

1. 期 日 令和5年9月3日（日）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ **明日から応用できる最先端エンドドントロジー**

- 内 容
- (1) ニッケルチタンファイルの安心安全な使用法
  - (2) 新しい機器・材料を利用した根管充填法
  - (3) マイクロスコープ使用時の秘訣

3. 研修の特徴 近年，歯内療法で使用される薬剤や器具および機器は目覚ましい進歩を遂げ，かつては非常に面倒であった根管治療も現在では比較的短時間で，かつ確実な治療が実践できるようになってきました。しかし，新しい方法を日常臨床に取り入れるのは簡単なようで実は難しいのが現状です。また適切に取り扱わないと逆に偶発症を招くことにもなりかねません。

本研修ではそのような不安な思いを払拭するべく，歯内療法の原点から最新の歯内療法まで幅広い領域をカバーできる内容を企画致します。午前は講義形式で，午後は内容をさらに充実させたハンズオンセミナーを行います。是非，最新の歯内療法を体得して頂き，明日の臨床に活用して頂ければ幸いです。

4. 実 習 ①Ni-Ti ファイルを用いた根管拡大

②CWCT法とバイオセラミックス系シーラーを用いた根管充填

③マイクロスコープを用いた高精細根管治療

5. 実習教材費 20,000円 6. 担 当 者 武市 収教授および講座員

7. 受講定員 36名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2503, 2598

## 4. 東京医科歯科大学歯学部

### ◎歯周病学分野 申込番号：4-1

1. 期 日 令和5年6月29日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 再生療法およびレーザーを活用した歯周治療  
内 容 (1) 歯周病の治療の進め方：再生治療の理論と適応症（講義）  
(2) 歯周治療におけるレーザーの効果（講義）  
(3) 歯周組織再生治療（講義・実習）  
(4) 各種歯科用レーザーの応用法（講義・実習）
3. 研修の特徴 歯周病学は病因論，全身への影響，新規器材・材料を用いた治療法など，現在の歯科の中で研究がめざましく進んでいる分野のひとつといえます。歯周病症状の進行によりこれまで保存が難しいと思われていた歯についても，新技術の開発により治療が可能となってきました。特に，歯周治療における歯周組織再生治療やレーザーの応用については研究が進み，正しい検査と診断に基づき実践されれば，予知性の高い治療法となってきています。  
本研修では，歯周治療をより効率的にかつ効果的に行うために，既存の歯周治療にどのように歯周組織再生治療やレーザーを取り入れていくかを学んでいただき，明日からの臨床に役立てて頂きたいと思えます。講義では歯周組織再生のメカニズム，適応症例，各種レーザーの特徴と応用について解説します。またリグロス®等歯周組織再生治療の手技，Er:YAGレーザーを用いた歯石除去・歯肉切除・歯周ポケット治療等について，デモンストレーションおよび実習をして頂きます。
4. 実 習 ブタ下顎を用いた歯周外科実習
5. 実習教材費 15,000円 6. 担 当 者 岩田隆紀教授，青木 章教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2504, 2598

### ◎顎口腔腫瘍外科学分野 申込番号：4-2

1. 期 日 令和5年7月9日(日) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ スムーズな小手術  
内 容 (1) 小手術時の見落としとしてはいけない解剖  
(2) 切開線の設定，剥離，縫合  
(3) 基本手術（埋伏歯抜歯，歯根端切除）  
(4) 有病者の抜歯に際する注意事項，抜歯の偶発症を回避するために  
(5) 模型実習（膿瘍切開，単純抜歯，難抜歯，埋伏歯抜歯）
3. 研修の特徴 小手術は正しい術前診断，患者さんへの説明，術中のリスクマネジメント，手技操作，術後経過観察を怠ってはいけません。スムーズな手技は，オペ時間の短縮や患者さんの疲労軽減につながります。自己流手術，あいまいな知識，安易な「外科処置は大学病院に送る」の繰り返しでは患者さんの信頼を得ることはできません。  
本研修では，小手術に必要な臨床解剖，パノラマX線画像や歯科用CTの読影および術前のX線診断による抜歯の難易度判定，基本的な切開および縫合の手技，および有病者の抜歯に際する注意事項や抜歯の偶発症を回避するための方法や対処法について解説します。さらに，下顎模型を用いて，膿瘍切開，単純抜歯，難抜歯，埋伏歯抜歯の実習を行い，局所麻酔から止血確認までの実際を習得して頂きます。
4. 実 習 ※日常の臨床で使用しているメスホルダー，持針器，外科用ピンセット，抜歯鉗子（下顎前歯，臼歯），ヘーベルをご持参してください。  
下顎模型を用いた膿瘍切開，単純抜歯，難抜歯，埋伏歯抜歯
5. 実習教材費 20,000円 6. 担 当 者 原田浩之教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2702, 2798

◎**歯髄生物学分野** **申込番号：4-3**

1. 期 日 令和5年8月27日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **エビデンスに基づくベーシックエンド+α**  
内 容 (1) 歯内療法におけるケースアセスメント  
(2) あらためて歯根と根管を考える ～根管形態への対応  
(3) NiTi ロータリーファイルを使いこなす  
(4) マイクロスコープは歯内療法のトラブルシューター  
(5) MTA のエビデンス  
(6) 難治症例への対応
3. 研修の特徴 近年、NiTi ロータリーファイルの開発、手術用実体顕微鏡や歯科用 CT の導入など、歯内療法の器材・術式は著しく進歩しており、そのグローバルスタンダードが大きく変貌を遂げています。ところが、これらの真価はエビデンスに基づき確立されたトラディショナルな理念や術式とのコンビネーションにより、はじめて発揮されるともいえます。そこでこの研修会では最新機材を駆使した臨床を紹介することはもちろんですが、トラディショナルな器材術式にも十分配慮した、教科書プラスアルファの内容ではあるものの、評価がある程度定まった手堅い情報をお伝えしたいと思います。また顕微鏡での実習、MTA や2種類のニッケルチタンファイルを用いた実習は、皆様の明日からのエンド臨床に必ず役立つと思います。
4. 実 習 歯科用顕微鏡および MTA、2 種類の NiTi ファイルを用いた歯内治療実習
5. 実習教材費 20,000円 6. 担 当 者 興地隆史教授および講座員
7. 受講定員 36名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2503, 2598

◎**う蝕制御学分野** **申込番号：4-4**

1. 期 日 令和5年9月10日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **最新の接着修復 コンポジットレジン修復の接着パフォーマンスを高める**  
内 容 (1) 歯質接着システムの分類と特徴（講義）  
(2) 歯質と窩洞条件による接着性の違い（講義）  
(3) 白歯コンポジットレジン修復（Ⅰ級）（実習）  
(4) 光干渉断層計（OCT）を用いた窩壁適合性評価（デモ）  
(5) 前歯コンポジットレジン修復（Ⅲ級またはⅣ級）（実習）  
(6) 様々なコンポジットレジン修復（コンポジットレジン修復の展開）（講義）
3. 研修の特徴 審美性と機能性を備えたコンポジットレジン修復の成功率を高めるためには、歯質接着システムと修復材料の特性を理解し、高い接着と優れた窩壁適合性を得る必要があります。コンポジットレジン修復の長期安定的な予後は、今までの歯冠修復をより専門的で発展的なレベルへと高めることも可能になるでしょう。  
そこで本研修では、コンポジットレジン修復の歯質接着性を理解し、日々の臨床における接着パフォーマンスを高めていただくために、光干渉断層計（OCT）による非破壊断層画像を用意しました。ダイナミックな OCT 画像情報から、コンポジットレジン修復の安定的な窩壁適合性を得るためのコツを学ぶことができます。  
講義では接着修復の基本的理論を概説し、発展的な手技についても解説する予定です。また高度なコンポジットレジン修復に必要な臨床テクニックの体得を目指します。
4. 実 習 ※**抜去歯（白歯をできれば数本）とご使用の接着システムをお持ちください。**  
①Ⅰ級コンポジットレジン修復（抜去歯）  
②Ⅲ級またはⅣ級コンポジットレジン修復（人工歯）
5. 実習教材費 15,000円 6. 担 当 者 島田康史教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2604, 2698

## 5. 昭和大学歯学部

### ◎歯科補綴学講座 申込番号：5-1

1. 期 日 令和5年7月6日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ インプラントオーバーデンチャー (IOD/IARPD) とデジタルデンティストリーのエッセンス  
内容 (1) 最新・補綴学総論 - デジタル技術・IOD/IARPD の活用 - (講義)  
(2) 有床義歯にインプラントを活用する - IOD・IARPD とは - (講義)  
(3) デジタル技術を活用した補綴治療 (講義)  
(4) 口腔内スキャナーの実践 (講義・実習)  
(5) IOD に対応したインプラントのハンドリング (講義・実習)
3. 研修の特徴 近年、有床義歯学領域では、義歯かインプラントのいずれかを選択するという臨床判断ではなく、床義歯として欠損部顎堤や残存支台歯を利用しつつ、最小本数のインプラントを支台歯に組み込み義歯の動きを制御するインプラント・オーバーデンチャー (IOD) やインプラント・アシステッド・パーシャルデンチャー (IA-RPD) が普及してきました。  
一方、固定性補綴領域では、デジタル技術を用いた製作法が普及し、従来の方法に取って代わろうとしています。さらに、口腔内スキャナーを用いたデジタル印象法により技工のみでなく臨床手技もデジタル化されつつあります。  
本研修では、これらの歯科補綴学の最新の潮流だけではなく、実際の臨床判断・臨床手技を解説し、明日からの臨床に応用できることを目標とします。同時に、インプラントのハンドリングやデジタル印象の実習を通じて、最新技術のメリットを体験していただけるよう企画しております。
4. 実 習 顎模型を用いて下記の一連の臨床操作の実習を行います。  
①IOD に対応したインプラントのハンドリング実習  
②口腔内スキャナーを用いたデジタル印象
5. 実習教材費 10,000円 6. 担 当 者 馬場一美教授および講座員
7. 受講定員 30名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2609, 2698

### ◎小児成育歯科学講座 申込番号：5-2

1. 期 日 令和5年7月13日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 本当は難しくない小児の保隙  
内容 (1) 歯列および咬合の成長発育と異常 (講義)  
(2) 症例にあわせた保隙の選択 (講義)  
(3) 保隙設計のポイント (講義)  
(4) バンドループ作成 (実習)
3. 研修の特徴 小児のう蝕は減少傾向にありますが、日常臨床では重症う蝕や外傷など、乳歯抜去を余儀なくされる症例に遭遇することもめずらしくありません。現在はクラウン (バンド) ループや可撤保隙装置の保険診療が可能なのはご存知のことと思います。乳歯抜去後はそのままにせず、適切な保隙を行うことで将来的な歯列不正の予防にもなります。発育途上の小児に対して装置を入れる際は、保隙の確実性だけではなく成長発育を阻害することのないよう設計・作成する必要がありますが、装置の選択や調整に苦慮することが多いのではと考え、敬遠しがちな分野になっていないでしょうか？  
小児の保隙は、設計や作成のポイントをつかむことにより、短時間で作成することが可能となります。  
本研修では、小児歯科を専門とされていない先生方がスムーズに保隙の設計、作成が可能となるよう、講義と実習を通して習得して頂くことを目的としています。実習では、実際に作成することだけでなく、技工依頼をする際のポイントなどについても説明させていただきます。
4. 実 習 ①低年齢児の印象採得 (光学印象)  
②保隙の設計シミュレーション  
③バンドループ作製
5. 実習教材費 8,000円 6. 担 当 者 船津敬弘教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2902, 2998

◎高齢者歯科学講座 **申込番号：5-3**

1. 期 日 令和5年8月6日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 下顎総義歯難症例への対応

- 内 容
- (1) 総義歯の形をイメージする(講義)
  - (2) 下顎総義歯に与える咬合の基本(講義)
  - (3) だめな義歯をよい義歯に修正する(実習)
  - (4) 模型からよい義歯の形をイメージする(実習)
  - (5) 難症例でも採れる概形印象のコツ(講義・実習)

3. 研修の特徴 超高齢社会を迎え、顎堤が吸収し、下顎位が不安定な総義歯難症例が増加しています。さらに、要介護状態にあることも多く、訪問診療での対応が必要になることも少なくありません。限られた器材・人的資源・時間と、制約の多い環境の中で、私達はどのように無歯顎難症例に対応すればよいのでしょうか。

そもそも総義歯は「湖に浮かぶボート」と例えられるように、粘膜の上に義歯床と人工歯が乗っているシンプルな補綴装置です。昨今、特別な道具や術式がもてはやされることもありますが、大事なことは「〇〇法」を使うことではなく、よい義歯のゴールが見えていることです。補綴治療はエラーの積み重ねですから、複雑な術式や優先順位の低いものにこだわることはやめて、できるだけシンプルな診療であるべきです。

本研修会では、総義歯の形態と咬合をまず頭で理解し、次により義歯の三次元的形態を実習で確認して頂きます。その上で、模型でのよい義歯のイメージ法、概形印象の採り方など、臨床ですぐに使える知恵と技について学んで頂きます。

4. 実 習 ①義歯の形態修正実習(だめな義歯からよい義歯へ改造)

②研究用模型への義歯概形の記入実習(すべての基本)

③無歯顎の概形印象採得実習(急がばマル模)

※実習で用いた複製義歯と模型はお持ち帰り頂けます。

先生方の総義歯臨床における「よい義歯」の見本として、お使い頂ければ幸いです。

5. 実習教材費 18,000円 6. 担 当 者 佐藤裕二教授, 古屋純一准教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2608, 2698

◎インプラント歯科学講座 **申込番号：5-4**

1. 期 日 令和5年9月10日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 最新のインプラントトラブルとリカバリー

- 内 容
- (1) 現代のインプラントトラブルの特徴
  - (2) 外科的トラブルとリカバリー法
  - (3) 補綴学的トラブルとリカバリー法
  - (4) インプラント周囲炎とその対応
  - (5) 患者クレームへの対応
  - (6) インプラントの早期喪失を回避するためには

3. 研修の特徴 本研修では、「最新のインプラントトラブルとリカバリー」をテーマに、前半は、現代のインプラントトラブルの特徴について解説するとともに、サイナスリフトやGBR等の外科的トラブルやインプラント体破折やスクリュー破折等の補綴学的トラブルとリカバリー法について臨床写真や動画を交えて解説します。さらに後半では、現代のインプラントトラブルの問題にもなっている最新の治療方法(all-on-fourに代表される即時荷重や抜歯即時埋入, ソケットプリザベーションや軟組織移植等)の適応選択と問題点, 外科手技に応じた骨移植材料の選択方法, 長期予後を脅かすインプラント周囲炎に対する新しい診断基準と治療方法, 訴訟や患者クレームに関わる同意書作成のポイントや保証の在り方について解説するとともに、顎模型を用いた外科実習(インプラント周囲炎治療やGBR)を実施していきます。

4. 実 習 顎模型を用いた外科実習

①インプラント周囲炎治療

②GBR

5. 実習教材費 18,500円 6. 担 当 者 宗像源博准教授および講座員

7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2609, 2698

## 卒後研修への申込方法

### 【WEBからお申し込みの場合】

本会ホームページ（   ）の「イベント・講習会等情報」をクリックして「参加申し込みフォーム」よりお申し込みください。



こちらからも  
研修会のお申  
込みができます

### 【FAXでのお申し込みの場合】

本冊子 p. 1，もしくは本会雑誌3月号・4月号の申込書へ必要事項をご記入の上，  
FAX（03-3262-4199）でお申し込みください。

